

生命科学特論 受講感想文

修士1年生

(スポーツ科学研究科)

1学期間、大変興味深い講義を提供していただきまして誠にありがとうございました。自身、文系だったこともあり免疫系には苦手意識がありましたが、修士論文でも性感染症に関連づけた論述をしたいと考えていたため受講させていただきました。導入の時点で様々なテキストを紹介していただいたので、購入し様々なテキストを読んでみながら自分なりに理解を深めていくような流れで勉強させていただきました。

回を重ねるごとに学習内容が難解になり、全部理解できたかといえば自信がないのも正直なところですが、文献を読んだりインターネットなどでも調べてみることで自分の中に免疫学に関連した知識を増やすことができたかと思えます。

修士論文で性感染症を含む情報の流通に関して精査していきたいと考えているので、今回学んだ全般的なことをベースとして性感染症に焦点を当てて理解を深めて生かしていきたいと思えます。有意義な授業を提供していただきありがとうございました。また他の授業を履修できる機会がありましたら、よろしくお願いいたします。

(スポーツ科学研究科)

私は、昨年、理学療法士の免許を取得し、国試勉強した内容が鈴木先生の授業と多く重なる部分があった。これは医学においても、理学療法の分野に関しても、スポーツの分野に関しても基礎となる非常に重要な部分であると感じることができた。修士課程1年にして、基本をもう一度振り返ることができたのはとても貴重な機会であった。私の研究は筋のシナジー解析を行う実験研究であるので、直接的に先生の授業が関与する事は少ないが、トレーナーとして活動していくにあたって、理学療法士として活動していくにあたっては非常に有益な情報であった。ありがとうございました。

(スポーツ科学研究科)

高校までに習ったこと、学部生時代に習ったことの復習ができてよかった。それに加え、それぞれの付加知識も学ぶことができた。しかし内容が難しくついていけないことも多かった。特に研究の発表の内容はとても難しかった。

(スポーツ科学研究科)

コロナウイルス流行により対面ではなくオンラインでオンデマンドという形でしたが半年間ありがとうございました。生命科学は私の専門領域ではありませんでしたが、専門外の

知識を 1 つでも多く蓄えることができたので、これを自分自身の研究にも応用したいと思っています。スライドに文字だけでなく図や絵をたくさん載せていただいたおかげで、説明だけで理解できないときには図や絵を見ることでイメージすることができました。また、オンデマンドはいつでも好きな 時間に動画を視聴することができるだけでなく、仮に理解できなかった部分があれば巻き戻して再度説明を聞くことができるというメリットがあります。だから、このオンデマンドのメリットのおかげで何回も説明を聞くことで最終的には理解することができました。そして、期間中に取り組んだこととして、授業での説明やスライドでも分からなかった箇所があれば、「ZERO からの生命科学」や図書館に行くなどしてできるだけ図や絵でイメージして理解するということです。先程も述べましたが、授業のスライドには絵がたくさん載ってあったので理解しやすかったが、スライドに絵が載っていない箇所がありました。授業にて図や絵での理解のしやすさは身に染みていましたので、「ZERO からの生命科学」や図書館に行くなどしてなるべく図や絵でイメージして理解しようと取り組みました。

(スポーツ科学研究科)

本講義を受けて生命科学についてより詳しく学ぶことができたと感じました。

あまり、大学の時に本講義のような授業を取っておらず、勉強をしてこなかった内容だったため、とても新鮮で面白い分野だと思いました。特に、今回自分がまとめた免疫について詳しく調べることがなかったので、免疫機能を使ったもの、その問題点などを学習することが出来ました。また、癌について言葉は知っていても、癌の症状やリスク、癌に対するワクチンの危険性について知らなかったもので、インターネットなどで調べてより理解を深めることが出来ました。癌のほかにも今摂取が盛んに行われている、コロナウイルスワクチンの製造方法や、なぜこんなに早くワクチンを作ることが出来たのか知る機会になる授業でした。

その他の内容でも、体の細胞がどのようなものに働いて、体の動きや情報の伝達を体内でどのように行っているのか、様々な体の反応に対して、細胞がどのように作用しているのかなど、広く学ぶことが出来ました。

反省点として、浅く広く学ぶことは出来たのですが、より深く内容を学ぶことが出来なかった点が挙げられます。先生の講義の内容を復習して勉強をし、自分の興味がある事は、インターネットなどを用いて学習しましたが、その他のことに対してはあまり勉強できませんでした。もう少し、深く学ぶことで自分の知識を増やすことが出来たのではないかと感じました。夏休みを通してより詳しく学ぼうと思います。

最後に、半期ですがとても面白く学ばせていただきました。ありがとうございました。

(スポーツ科学研究科・留学生)

本授業を受けた理由は大学生の時からスポーツ医学に興味があり、生理学、栄養学などの医学授業を受けた。しかし、今まで学んだ生理学の授業ではホメオスタシス、エネルギー代

謝などに関する内容で、免疫に関する講義は受けたことがなかった。そのため、本授業のシラバスを見てから免疫は体調のみならず、運動とはどのような関係があるかと思われ、授業を受けることにした。

15回の講義を受講し、復習はしなければいけないと思われるくらいの難しさだった。つまり、今まで学んだことがない内容、聞いたこともないホルモンの名前、作用、役割の内容だった。

レビューシートを書きながら思い出そうとしてもなかなか難しく、資料やメモを見なければ、レビューシートが書けない講義もあった。

ところが、15回の講義で最も興味を持って学習した回は免疫/サイトカインの講義だった。サイトカインが運動と関係があることは分かっていたが、単にそれだけで、免疫と関係があることは知らなかった。

運動は睡眠と関係があることは早稲田大学スポーツ科学研究科西多研究室の入試のため、勉強するとき、先行論文を通して分かった。そのため、運動と関係がある物質は睡眠とも絶対関係があるはずだと思い、免疫/サイトカインと睡眠の関係に関わる先行論文を読み、関係があることが分かった。

自分の研究に関する内容がある可能性があるにもかかわらず、前半の講義にはやる気を持ってなかったということが反省であり、調べる力が学習においては重要であることも再度分かった。

(スポーツ科学研究科)

本講義では自主学習用に用語集、フィードバックのコメント、参考資料の紹介など様々な教材を紹介していただいたので、自習をする際に疑問に対する答えを見つけやすかったです。しかし、途中から内容が盛りだくさんで復習に時間を設けることが出来ず、怠ってしまった為にだんだん授業に追いついていけなくなってしまったことが反省点です。丁度コロナウイルスの流行と本講義の受講時期が重なったので、巷に流れる情報と講義内容を照らし合わせながら、興味深く聴講することが出来ました。半期お世話になりありがとうございました。

(創造理工学研究科)

課題では、生命科学と自分の研究課題である「衛星リモートセンシング」を絡めた内容に取り組むことができました。研究内容は土砂災害の研究であるために、私と生命科学はかけ離れていました。しかし、今回の講義を通して、生命科学についての基礎知識を習得していく中で自分の研究を生かすことができる道が開けました。修士課程の研究では、自分の卒業研究である「土砂災害」を深めていくか、新規でテーマを作成するかを悩んでいます。しかし、今回の講義や課題で培った経験を基に研究だけでなく、今後の進路の選択に活かしていきたいです。講義全体の感想として、レビューシートの感想に1つ1つ返していただいていた嬉しかったです。今後は、研究の新規テーマの模索、学資編入の勉強に精進したいと思

ます。

(スポーツ科学研究科)

私は生命科学特論を受講して、専門用語や構造、働きや特徴などのある程度の基礎知識が必要であると感じた。理由は化学式や、初めて聞く生化学の内容も増えて難解に感じたためである。そこで先生に添付していただいた資料を自分なりに覚え、基礎知識などは教科書を使用して学習した。しかしそれだけでは限界があるため、講義テキストと教科書の図や、サイトで動画を見たりするなど、自分なりに工夫することによって基礎知識の学習を積み重ねることができ、講義内容の理解が深まったと感じた。私は今後の研究や臨床で骨格系や筋系を扱う場面が増えていくと思う。今回学んだ知識は勿論、さらに骨格系、筋系の組織や器官などをより意識して今後の修士生活を過ごしていきたい。

(スポーツ科学研究科)

本講義を通して気付いたことは、メカニズムの理解により学問の本当の面白さが理解できるということである。今回の講義内容では筋肥大のメカニズムについて最も興味があったが、これまではどの程度の重量で何回何セット行えばいいのか、といった方法論的なことにしかあまり興味がなかった。今回のレポート課題をきっかけに筋肥大のメカニズムに関して専門書を読み漁ってみたり、複数の英語論文を読んだが、非常に複雑であり理解が難しかったものの本質に触れているようでレポート課題に取り組む期間は知的好奇心がくすぐられ続けた。これまでの学習が表面的で終わっていたことを感じ反省した一方、難解であってもメカニズムを理解することの面白さを再確認できたのは非常に良かったと思う。物事の詳細なメカニズムは理解していなくても運動指導はできてしまうが、知識のアップデートや収取をする際には非常に役に立つとも感じたので、今後も物事の本質の理解を目指し勉強を進めていこうと思った。

(人間科学研究科)

私がこの講義を受講した当初の目的として、修士に進学した時点で研究内容を決めきれていないことがあった。脳にまつわる研究をしたかったが、マウスを使った研究をするか、障害者を相手にする研究をするか、ただ fMRI などを使って認知機能と組み合わせた研究をするか定まっていなかった。しかし春学期が終わるにつれ、認知神経科学を追求していくことに決めた。分野を決めてからは、この授業の受け方として、自分の分野にどう生かせるか生かせないかの目線で見ることが多くなった。その上で、この講義は非常に有意義であり、学ぶものが多かった。レポート部分にも書いたように、自分の専門だけでなく、生物学的知見も今後身につけて、多角的な研究をしていきたい。

以上